

# 【A中学校】 第2学年 「E 球技：ネット型 バレーボール」の指導計画

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
E 球技：ネット型 バレーボール	○知識 ①球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。 ②バレーボールにおいて用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。	①提示された動きのポイントやつまみずきの事例を参考に、自己やチームの課題、出来映えを伝えている。 ②提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ③仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。	①バレーボールの学習に積極的に取り組もうとしている。 ②課題解決や作戦などについての話し合いに参加しようとしている。 ③一人一人の違いに応じたプレイなどを認め、仲間の学習を援助しようとしている。
単元の目標	○技能 ③味方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。 ④相手側のコートに空いた場所にボールを返すことができる。 ⑤相手の打球に備えた準備姿勢をとることができる。		
【知識及び技能】 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、(その運動に関連して高まる体力)などを理解することができるようにする。 ・基本的な技能を用いたボールの操作と定位置に戻るなどの動き、仲間と連携した動きで空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・バレーボールに積極的に取り組むとともに、(フェアなプレイを守ろうとすること、)作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、(仲間の学習を援助しようとする)ことなど(や、健康・安全に気を配ること)ができるようにする。	授業ノブキヤン	・第2学年では、昨年度の学習の様子から、サービス、アンダーハンドパス、オーバーハンドパス、スパイク、ブロックといったボール操作を活用し、ネットを挟んで自チームが協力・連携し合いながら空いているコートに返球し、得点することを楽しみながら学習を進める。 ・効率よく得点するという課題解決のために、ボールを持っていないときの動きやフォーメーション、チームの作戦について仲間と対話しながら考えるなど、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることをねらいとする。 ・授業においては、ICTを活用して役割に応じた動きやフォーメーションの必要性について考える場面や、対話活動の中で個人に合った役割やチームの作戦について考え、ゲームの中で実践するとともに、振り返る場面を設定し、ねらいの達成を図る。	

## ○ 指導と評価の計画

時	1	2	3	4	5	6(本時)	7	8	9	10	11	
ねらい	現在の自分の状況を把握し、基礎技術を確認する			コートに空いている場所へ落とす意識と技能を高める		自己やチームの課題を持ち、練習を工夫する 自己やチームに合った作戦や役割を選択し実践する			高まった技能やチームで選択した作戦、役割をゲームで実践する ※振り返って改善する			
学習の流れ	0	集合・整列・あいさつ・健康観察・前時の振り返り・本時のねらいや課題、流れの確認										
	10	ボールを使ったウォーミングアップ・準備体操										
	20	・オリエンテーション(競技の特性や歴史の復習、単元の流れの把握、技術の復習)	ボール操作の向上&課題解決ドリル① ・サービス、レシーブ、パス(トス)、定位置に戻る動きの練習	ボール操作の向上&課題解決ドリル② ・スパイク、空いた場所への攻撃を中心としたラリー、空いているコートにボールを落とすことの練習	空いているコートへの攻撃を中心としたラリーをより効果的に行うために、「定位置に戻る動き」や「ボールを持たないときの動き」などの「連携した動き」について考える活動 ・動画の分析、自チームの動きの分析 ・選択した作戦や役割を確認するための実践練習	より効果的に空いているコートにボールを落とすために選択した作戦や役割を確認する実践練習 ・サービスを行う場合と受ける場合の動きの確認 ・前時の振り返りから改善する ・必要に応じて役割を変更する						
	30	・現状、実力確認のためのゲーム(正規ルール、ネット2m程度)	ルールやコート工夫した簡易ゲーム(キャッチあり、タッチ制限増、バドミントン or ハーフコートなど)	得点やコートを工夫した簡易ゲーム(ノータッチで落とした場合は得点増加、タッチ回数分の得点加算、ハーフコート or 2/3コートなど)	チームで選択した作戦や個人の役割を実践で確認するためのゲーム ※基本的にフルコートで行う。状況に応じてハーフコートも活用する。	これまで学習してきた基本的なボール操作やチームで選択して工夫、改善してきた作戦と個人の役割を発揮するためのゲーム ・空いているコートにボールを落とすことを目的として、ラリーゲームを楽しむ						
	40	・自己やチームの課題や改善点について考える。										
50	授業のまとめ、振り返り(学習プリントの記入)											
評価計画	知識技能	①(プリント記述)	②(プリント記述) ⑤(観察)	③(観察)		④(観察)			⑤(観察)	③(観察)		
	思考判断表現				②(観察)		①(プリント記述)	③(プリント記述、観察)	②(観察)		①(プリント記述)	
	主体的に学習に取り組む態度	①(観察)		③(観察)			②(観察)			①(観察)		
											総合的な評価	

本時の指導案（6/11 時間）

<p>本時の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで空いた場所への攻撃を行う時の動きに着目した話し合い活動を通して、自己やチームの課題を見付け、伝えることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）</li> <li>・課題解決や作戦などについての話し合いに参加することができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）</li> </ul>		
<p>段階</p>	<p>学習内容と学習活動</p>	<p>学習形態</p>	<p>教師の指導と支援（◆評価規準と方法）</p>
<p>導入</p>	<p>○集合・整列・あいさつ・健康観察 ○前時の振り返り</p> <p>○ウォーミングアップ・準備運動</p> <p>○本時の流れや課題の確認 ・動画分析～チームの作戦役割選択～実践の見通しを持つ</p>	<p>全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの空いた場所への攻撃を中心としたラリーや空いている場所にボールを落とす学習を振り返る。</li> <li>・手首、指、足首を入念にほぐすよう指導する。</li> <li>・「連携しながら空いた場所へ攻撃すること」について学ぶ見通しを持たせるために、大まかなポジションと役割を確認する。</li> </ul>
<p><b>課題</b> チームで効果的に「空いた場所への攻撃」を行うためには、どのような「動き」が必要だろうか？</p>			
<p>展開</p>	<p>○効果的なラリーの模範動画を分析し、チームの状況に応じた作戦や役割を選択して決める。</p> <p>①自分たちのゲームの様子と模範動画を比較し、違いを分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーブレシーブのためのフォーメーション</li> <li>・トスをするためのセッターの動き</li> <li>・スパイクを打つためのスパイカーの動き</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後衛にレシーブ担当者を配置している</li> <li>・サーブを打たれた瞬間にネット際に移動している</li> <li>・ネットから距離をとり、スパイクを打つための助走をしている</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> </div> <p>②動画の分析から気づいたことをもとにポジションや役割、作戦を選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの中で大きく①レシーバー、②セッター、③スパイカーの役割や人数とポジションを選択して決める。</li> </ul>	<p>チーム</p> <p>チーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前のゲームの様子を提示し、客観的に現状を把握できるようにする。</li> <li>・後衛がサーブレシーブの役割を担っていること、セッターが相手サーブの直後にネット際に移動してトスの準備をしていること、両サイドが助走距離をとってスパイクを打つ準備をしていることがわかるよう、着目する選手や背番号を示す。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>◆提示された動きのポイントについて、自己やチームの課題、出来映えを伝えている。 (プリントの記述)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の得意、不得意なプレーに合わせて、ポジションと役割を決めるように指示する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>◆課題解決や作戦などについての話し合いに参加しようとしている。(観察)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Teams のホワイトボードを活用する。</li> </ul>

まとめ	<p>③選択した作戦や役割をもとにチーム練習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「連携した動き」や「役割」の確認</li> </ul> <p>④選択した作戦や役割をゲームで実践する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「連携した動き」や「役割」の実践</li> </ul>	チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回はローテーションを行わずに、決めたポジションや役割に専念するように伝える。</li> <li>・「連携した動き」を意識させるために6人が同時に動き始めること、それぞれの役割の具体的な動き方などを伝える。</li> <li>・お互いに「連携して空いた場所へ攻撃」できるように、 <ul style="list-style-type: none"> <li>①サービスはアンダーハンドで行うこと、</li> <li>②サービスは2回で相手チームに代わるルールで行うことを確認する。</li> </ul> </li> </ul>
	○チームで振り返りを行う。	チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えた役割を実践することができたか、評価場面の自身の姿勢についての視点を確認する。</li> </ul>
	○課題に対するまとめを確認する。	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3段階のプレーについて問いかけながら、できるだけ生徒から引き出してホワイトボードに記入する。</li> </ul>
	<p><b>【まとめ】</b></p> <p>効果的に空いた場所へ攻撃するためには、<u>①サーブレシーブに備える</u>、<u>②トスを上げるためにネット際を移動する</u>、<u>③スパイクを打つために助走距離を取る</u>などの「6人の連携した動き」が必要である！</p>		
○次時の学習の確認		○役割を変更したり、ローテーションを交えてゲームを行ったりすることを伝える。	
○号令、あいさつ			